

## 志賀原子力発電所1号機 ランドリ・シャワドレン系の弁損傷について

志賀原子力発電所1号機（第13回定期検査中）において、平成29年3月16日（木）15時20分頃、ランドリ・シャワドレン系<sup>※1</sup>の弁（F058、F059）の点検終了後に、収集タンク水を2号放水口へ放出<sup>※2</sup>しようとしたところ、水が流れないことを確認しました。

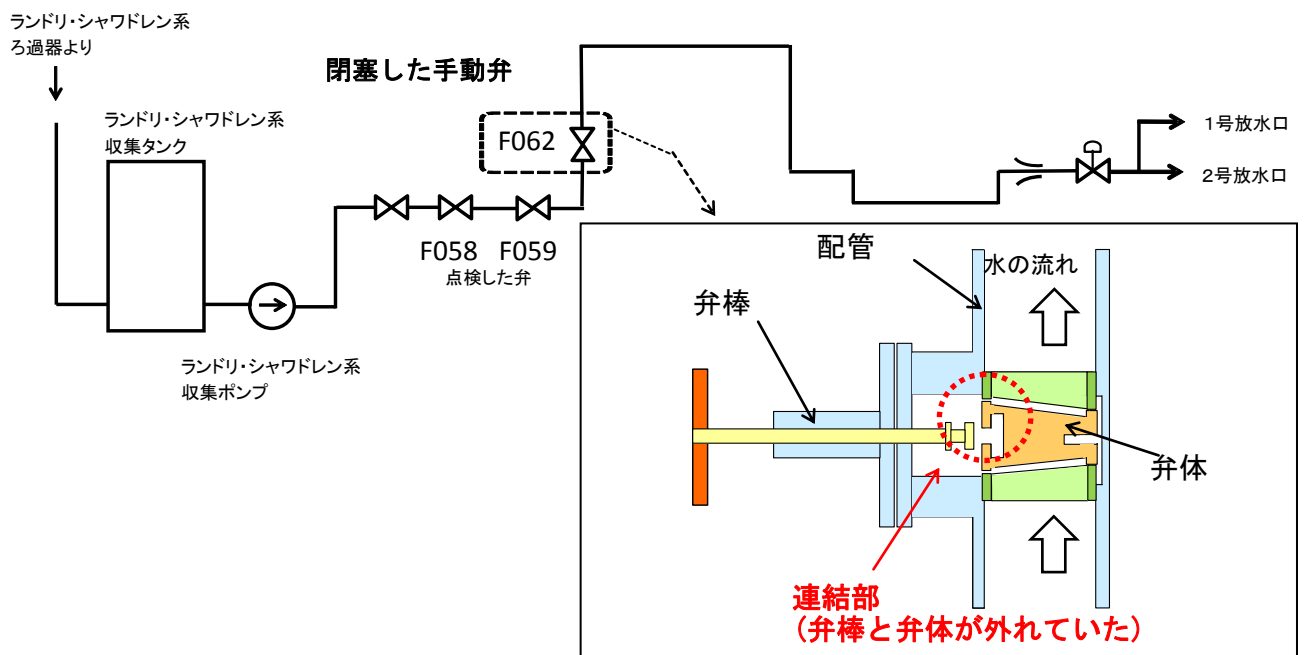
調査の結果、放出経路にある手動弁（点検対象としていない別の弁：F062）の弁体と弁棒の連結部が腐食により外れ、弁体が配管内部に留まり、水の流路を塞いでいたことを確認しました。

このため、当該手動弁を開放し、配管内部に留まっていた弁体を取り外したところ、放出は正常に行われました。当該手動弁（F062）は、他の弁（F058、F059）の点検時にのみ使用するものであり、今後、弁体等の必要な部品の取替を実施するとともに、点検計画の見直しも含めて計画的に点検を行い、再発防止に努めます。

なお、今回の事象により一時的に放出ができなくなりましたが、発電所設備への影響及び外部への放射能の影響はありませんでした。

※1 放射線防護服の洗濯廃液等を貯蔵し、処理する系統。

※2 放射性物質濃度が検出限界値以下であることを確認して、処理水を海洋へ放出している。



ランドリ・シャワドレン系系統概要図